

会議名	第2回区議会ホームページリニューアル業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	平成28年10月14日(金曜日)午後3時30分から4時24分まで
開催場所	議会棟4階 第1委員会室
委員	名和委員(委員長)、北本委員(区議会事務局長・副委員長) 岡本委員、新宮委員(企画経営部区長室長)、若杉委員(総務部情報政策課長)
事務局	区議会事務局調査係
会議次第	1 開会 2 第1次審査の結果について 3 第2次審査について 4 その他 5 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 第1次審査集計結果 ・資料2 第2次審査について ・資料2-2 事業者あて通知(通過事業者)(案) ・参考 審査基準【第2次審査】
会議の内容	
委員長 B委員 E委員 D委員 C委員	<p>【会議の結果及び主要な発言】</p> <p>(委員長から開会宣言)</p> <p>【第1次審査の結果について】</p> <p>各委員から採点結果について講評を。</p> <p>システム開発は初めてなので、視点を悩んだところだが、提案力では、提案内容のリコメンド機能は議会にとっては便利になると評価した。</p> <p>3階層4クリックは区が求めるものをきちんと書いているところを評価した。セキュリティ対策では、データセンター側の物理的対策やアクセス制限、アクセスログなど記載あるところに高い評価をした。気になる点は、機能要件一覧表でInternet Explorerのバージョンについて記載があるところ。</p> <p>一定レベル以上。全般的に平均的な記述だ。新規提案にアクセシビリティでAA準拠という表現があり高く評価した。</p> <p>大差はないという印象。ツールの機能ばかり説明して区に対する具体</p>

	<p>的な提案が弱いところがあった。他事業者は機能面では記載はあった。データセンター選択とセキュリティを特に注目したが、自前のデータセンターを使ったり、ASPだったり比較しにくかった。しっかりしたデータセンターを選ぶことが読み取れた。ホームページが攻撃を受けない前提か価格面に反映されているような気がした。価格を見るとその辺が読み取れ大きく差がついたのでよかった。</p>
A委員	<p>皆さんの点を見ても、機能面ではほぼ一緒。提案書を書いた経験が少なくCMSの説明のみの事業者もあった。その事業者を除き他の事業者は大差はなく、差があるのはセキュリティのところ。提案書を見るとWAFとかIPSという記述があるところがある。これをどう考えるかで価格が違ってくる。その記載が一切ない事業者は安い。他はほぼ同じ価格。国もDOS、DDOS攻撃など多い。私がかかっているところも攻撃を受けている。海外からの攻撃でホームページがダウンする。大量のパケットを送ってきてホームページをダウンさせるという攻撃だが、今後はこれに対抗するためWAFやIPSでIPを検知して遮断する等の機能を持つほうがいいのではないか。機能面では4者同じでどこを選んでも一緒。お金のかけ方の考え次第。区の問題なので何とも言えない。</p>
C委員	<p>攻撃に対応するというのはどこまでか。やりだすとお金はかかる。</p>
A委員	<p>考え方である。攻撃がなければお金が無駄になるのは事実。攻撃が始まると普通の対応では無理。</p>
B委員	<p>2次の時に確認することになる。</p>
A委員	<p>4者にするか3者にするか。</p>
D委員	<p>選択肢は広げたほうがよい。</p>
A委員	<p>後は時間の問題だが、私は構わない。結構差があるが2次審査で逆転できるか。</p>
事務局	<p>2次審査により場合によっては逆転もある。</p>
委員長	<p>逆転の余地もあるので4者で決定する。</p>
全委員	<p>了承。</p>
	<p><b>【第2次審査について】</b></p>
B委員	<p>プレゼンテーション参加者は最大3名ということを明記する必要がある。</p>
E委員	<p>プロジェクト遂行責任者を絶対来てもらう。</p>
事務局	<p>営業担当者に説明されても困るのでその辺は明記する。</p>
A委員	<p>本当にWAFやIPSはいらないのか確認したい。安いからということではない。我々も区の方針を確認したい。</p>
C委員	<p>今のホームページは、攻撃は全く想定していないのか。</p>

事務局	アクセス数も区のホームページの百分の一くらい。あまり知られていない。
A委員	しかし、何があるかわからない。議事録の一言で燃上することもある。
事務局	プログラムで自動的に攻撃を受けることがないとは言えない。
A委員	本体のホームページの関係もある。区全体の方針としてどうか。別の方策を考えるかもしれない。
	I P Sは侵入防止システムの略でD o SやDD o S攻撃に効果があるもの。それ以外のセキュリティは事業者6が詳しく書いていて良い。ただしD o S攻撃は記載ない。事業者3は記載がある。
C委員	事前に追加情報として事業者に伝えるほうがよくないか。
A委員	要件に則った記載で、W A FやI P Sの提案は求めている。
事務局	追加資料の提出により判断ということもできる。
A委員	W A F等を抜いた見積もり金額を出してもらわないと公平ではないかもしれない。
C委員	する場合としない場合の見積もりを各社からもらえば明確になる。
事務局	事業者へ通知と一緒に追加資料の提出を依頼する。入っていない事業者は入れた見積書、その他の事業者は抜いた見積書を提出してもらう。
E委員	非機能要件の要求水準でウェブの改ざんや脆弱性に対する対策を要求レベルでI P Aの「安全なウェブサイトの作り方改訂版」に準拠とありここに侵入防止等入っているかどうかで変わると思うが。
A委員	他社は明確に書いている。D o SやDD o Sは普通のホームページは対応できない。ウェブのアプリケーションなどで対応できる内容だがD o SやDD o S攻撃はそれだけでは対応できない。民間企業はそこまで考えないが国や自治体はこれに対する防御の問題が出てきている。この辺も2次審査の時に確認することになる。
全委員	了承。
	閉会